Git & GitLab

GitとGitLabの使い方

Git Gitとは

- 現在、世界で最も使われている バージョン管理ツール
- バージョン管理はローカルで 行われる
- コードはローカルで管理される



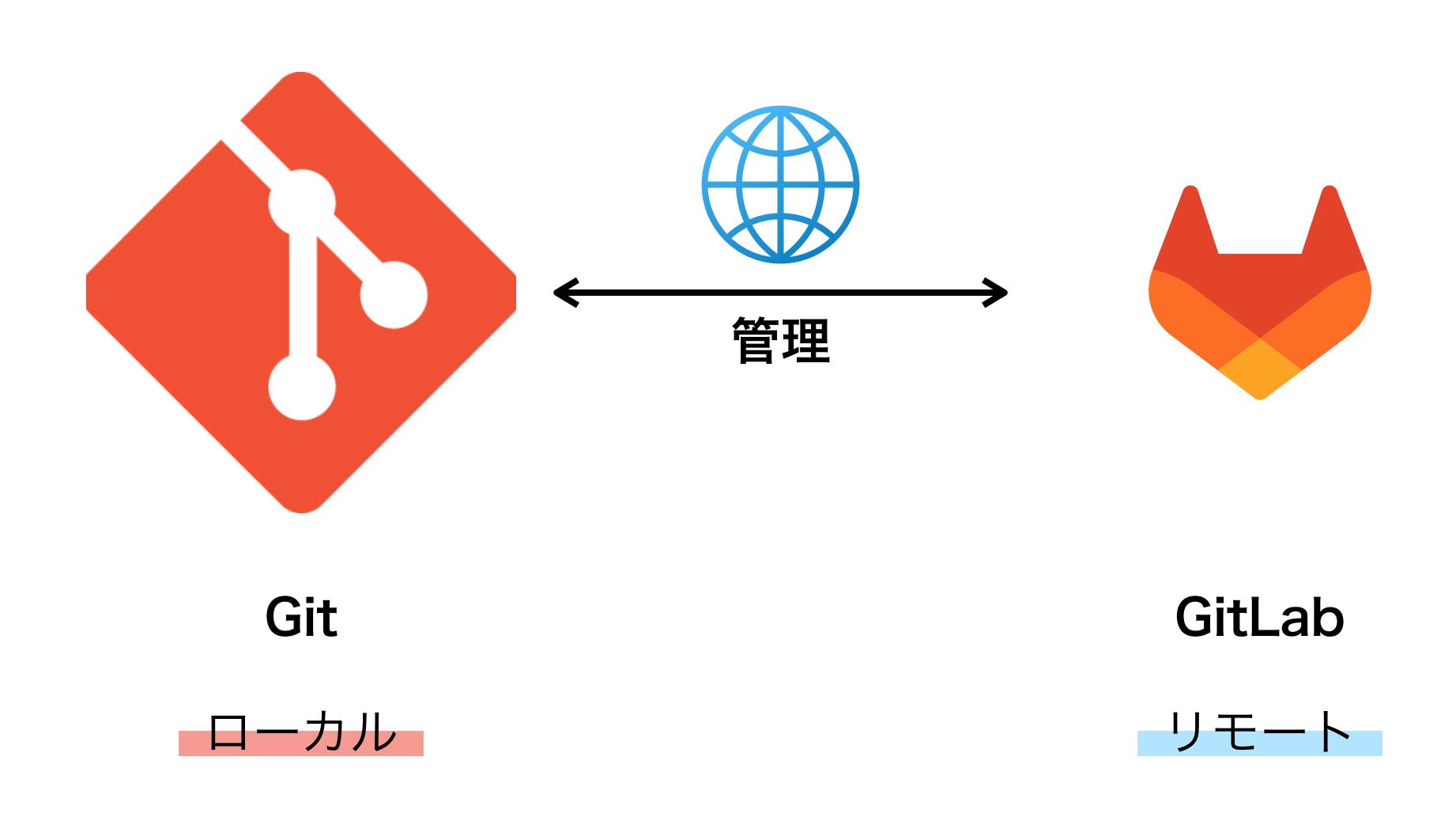
GitLab GitLabとは

- ・OSSのバージョン管理ツール
- バージョン管理はオンラインで 行われる
- ・コードはGitLabサーバーか ホストマシン上で管理される
- ・ OSSなどのコードを公開



Difference

GitとGitLabの違い



Repository リポジトリ

- ・ Gitにおける**ファイルや履歴を まとめて保存**できる フォルダーのようなもの
- GitとGitLab、どちらにも必要
- GitLabではProjectと言う



ローカルリポジトリ



リモートリポジトリ

Initialize リポジトリの初期化

- GitとGitLabを使用できるようにする操作
- ローカルリポジトリは作業ディレクトリ内に作られる
- ・GitLabはProjectsから 新しく作成する
- ・ GitLabとは紐付けられない





ローカルリポジトリ



GitLab上でGUIによる操作

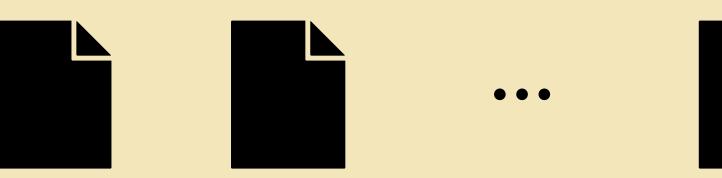
リモートリポジトリ

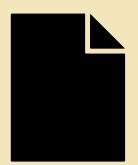
Initialize リポジトリの初期化

- ・ GitとGitLabを 使用できるようにする操作
- ローカルリポジトリは 作業ディレクトリ内に作られる
- GitLabはProjectsから 新しく作成する
- ・ GitLabとは紐付けられない

作業ディレクトリ







アップロードする元データ

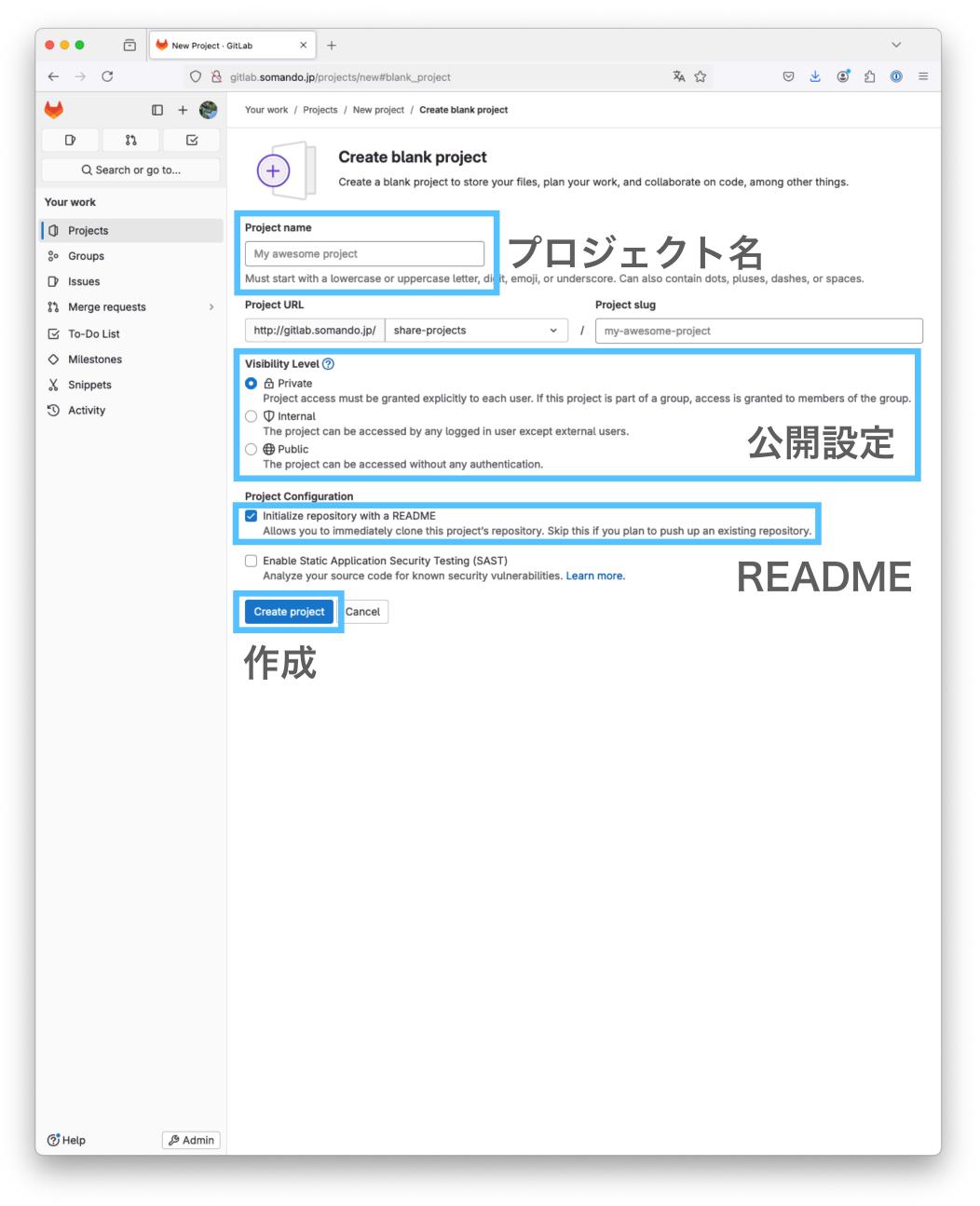


.git

コミットログなどのデータ

Initialize リポジトリの初期化

- GitとGitLabを使用できるようにする操作
- ローカルリポジトリは作業ディレクトリ内に作られる
- ・GitLabはProjectsから 新しく作成する
- ・ GitLabとは紐付けられない



New Project | GitLab

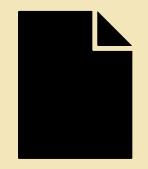
.gitignore

.gitignoreとは

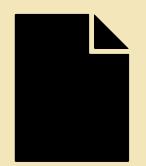
- ・**Gitで管理しないファイル**を 登録するファイル
- ・公開しない情報を選択する
- 非公開情報が入っているものを .gitignoreに登録する事で 情報漏洩のリスクを抑えられる

作業ディレクトリ





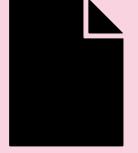


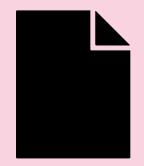


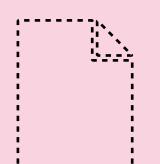
アップロードする元データ

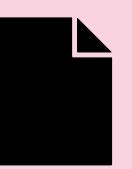


.git









Gitの管理から外れる

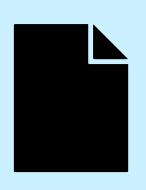
コミットログなどのデータ

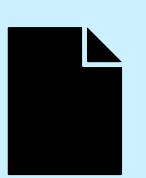
Clone リポジトリの複製

- ・GitLabに上がっている リポジトリを**複製する**操作
- コミットログも複製される
- コマンドを実行した場所に新しくフォルダーが作成される
- ・ GitLabとも紐付けられる



コミットデータ





リモートリポジトリ

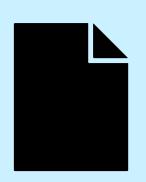


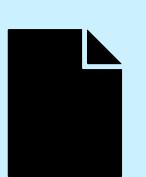
Clone リポジトリの複製

- ・ GitLabに上がっている リポジトリを**複製する**操作
- コミットログも複製される
- コマンドを実行した場所に新しくフォルダーが作成される
- ・ GitLabとも紐付けられる



コミットデータ





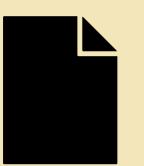
リモートリポジトリ

新規ディレクトリ









Remote add

リモートリポジトリの紐付け

- ・git init で定義した場合は どのリモートリポジトリにも **紐づいていない**
- 以下のコマンドでリポジトリ 紐付ける必要がある



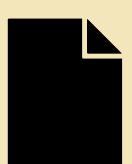
git remote add origin [HTTPS]

作業ディレクトリ

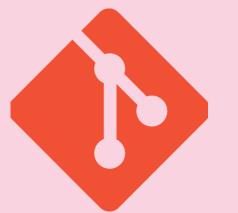




• • •



アップロードする元データ



git

リモートとの接続情報

コミットログなどのデータ

Add

ファイルのステージング

- ・Gitに登録するファイルを 選択する
- フォルダー全体だけでなく ファイルを個別に選んで ステージングもできる





Add

ファイルのステージング

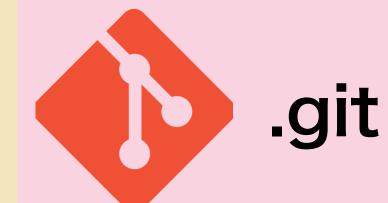
- ・Gitに登録するファイルを 選択する
- フォルダー全体だけでなく ファイルを個別に選んで ステージングもできる

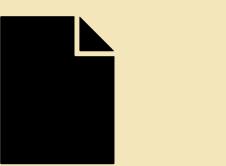
コミットデータ

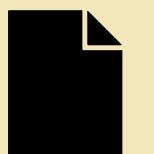


ステージング

作業ディレクトリ







Commit

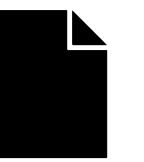
コミット

- ・Gitにステージングしたデータを 登録する
- この際にコミット名を付けて どのような変更をしたのかを 簡潔に書く





コミットデータ

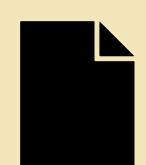


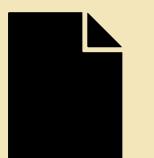


ステージング

作業ディレクトリ

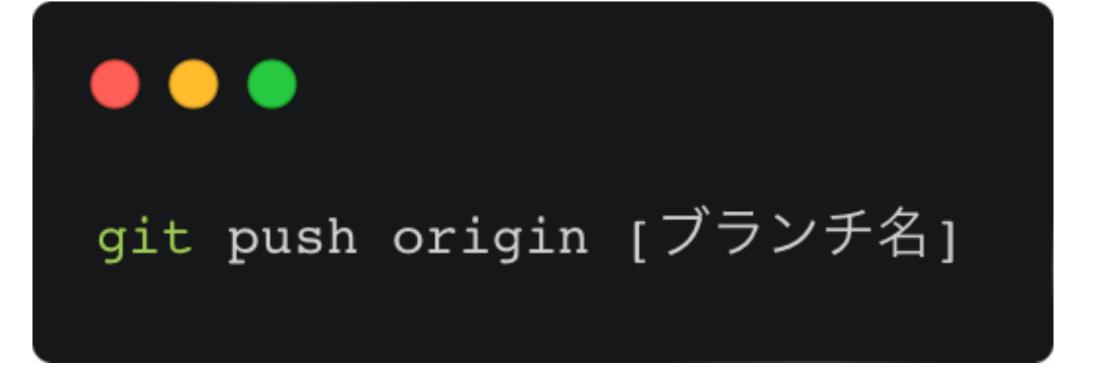


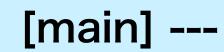




Push GitLabヘアップロード

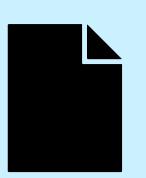
- ・コミットされたデータを GitLabヘアップロードする
- ・送信先のブランチを選択する







古いコミットデータ



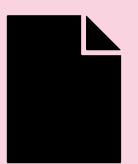
リモートリポジトリ

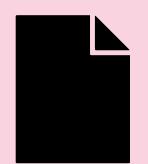


.git

[main xxxxxx] First commit

最新のコミットデータ





Push GitLabヘアップロード

- ・コミットされたデータを GitLabヘアップロードする
- ・送信先のブランチを選択する

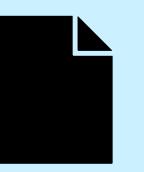


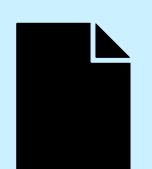
git push origin [ブランチ名]

[main xxxxxx] First commit

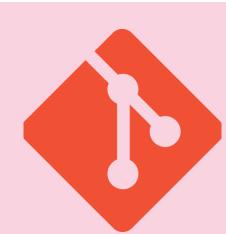


最新のコミットデータ





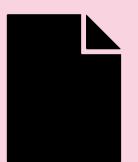
リモートリポジトリ

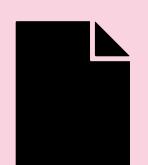


.git

[main xxxxxx] First commit

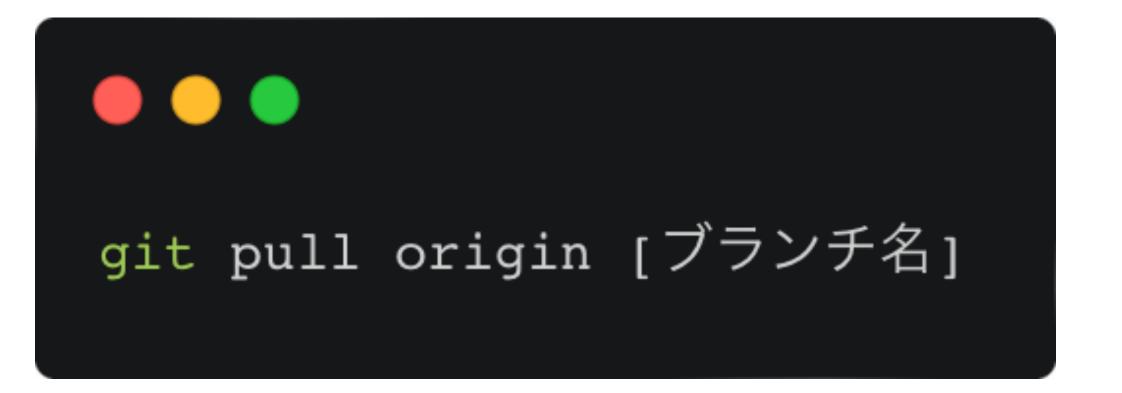
最新のコミットデータ





Pull GitLabからプル

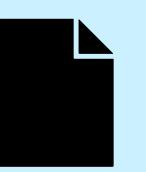
- · GitLabからプルする
- ・プル元のブランチを選択する

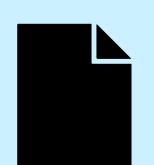






最新のコミットデータ





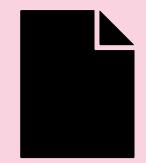
リモートリポジトリ



.git

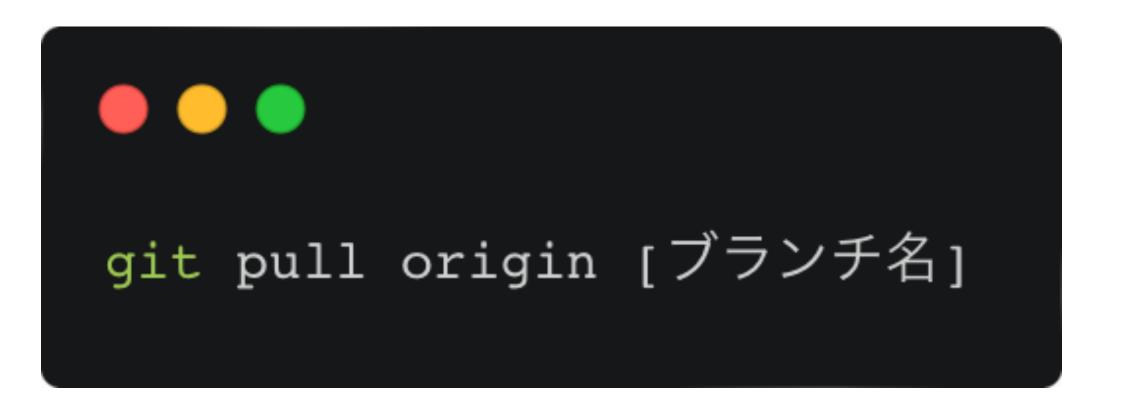
[main] ---

古いコミットデータ



Pull GitLabからプル

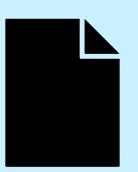
- · GitLabからプルする
- ・プル元のブランチを選択する

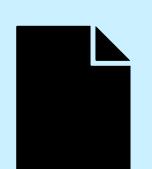






最新のコミットデータ





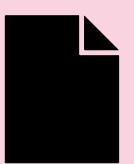
リモートリポジトリ

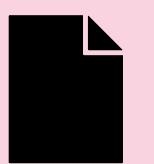


.git

[main xxxxxxx] First commit

最新のコミットデータ

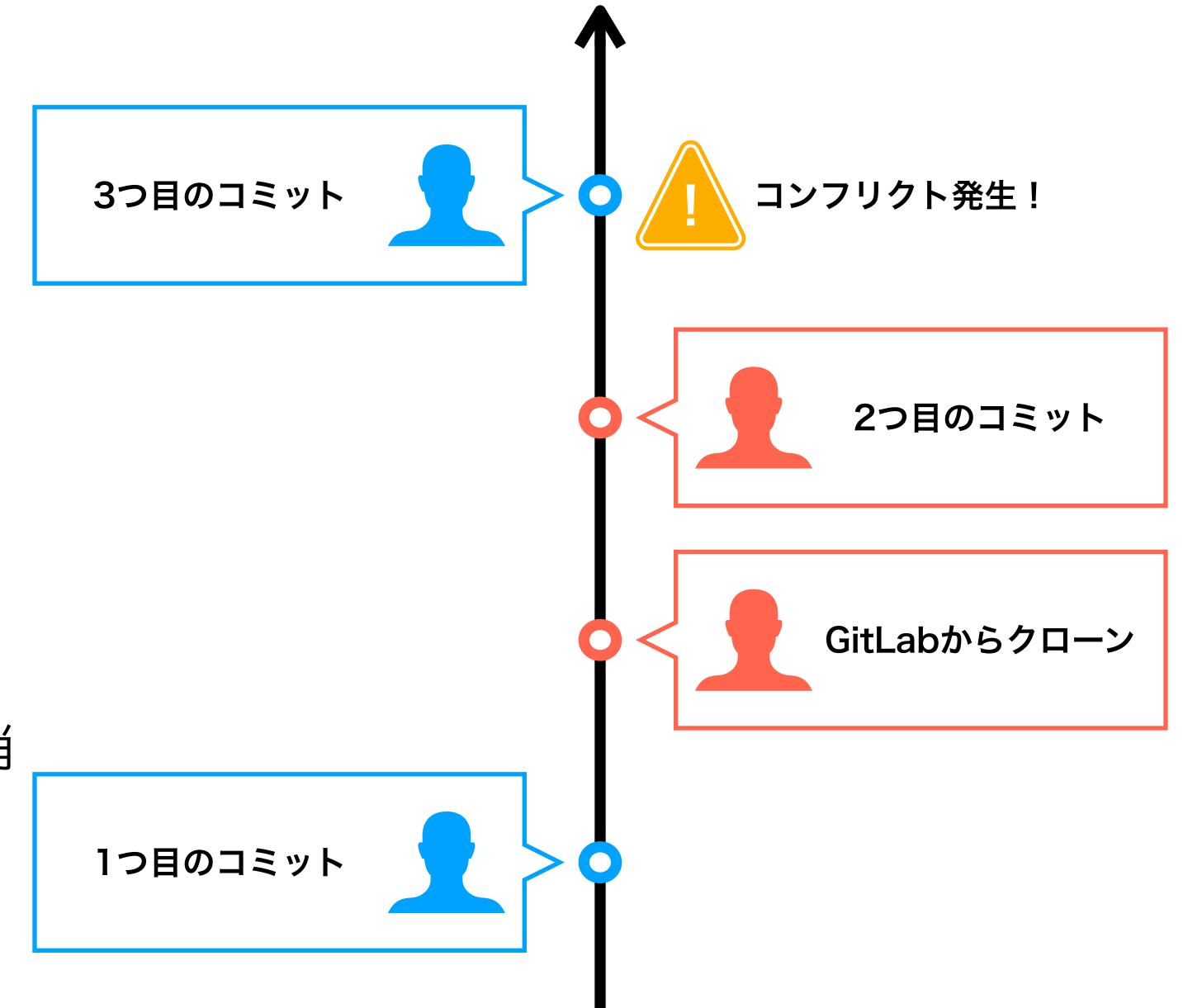




Conflict

変更履歴の競合

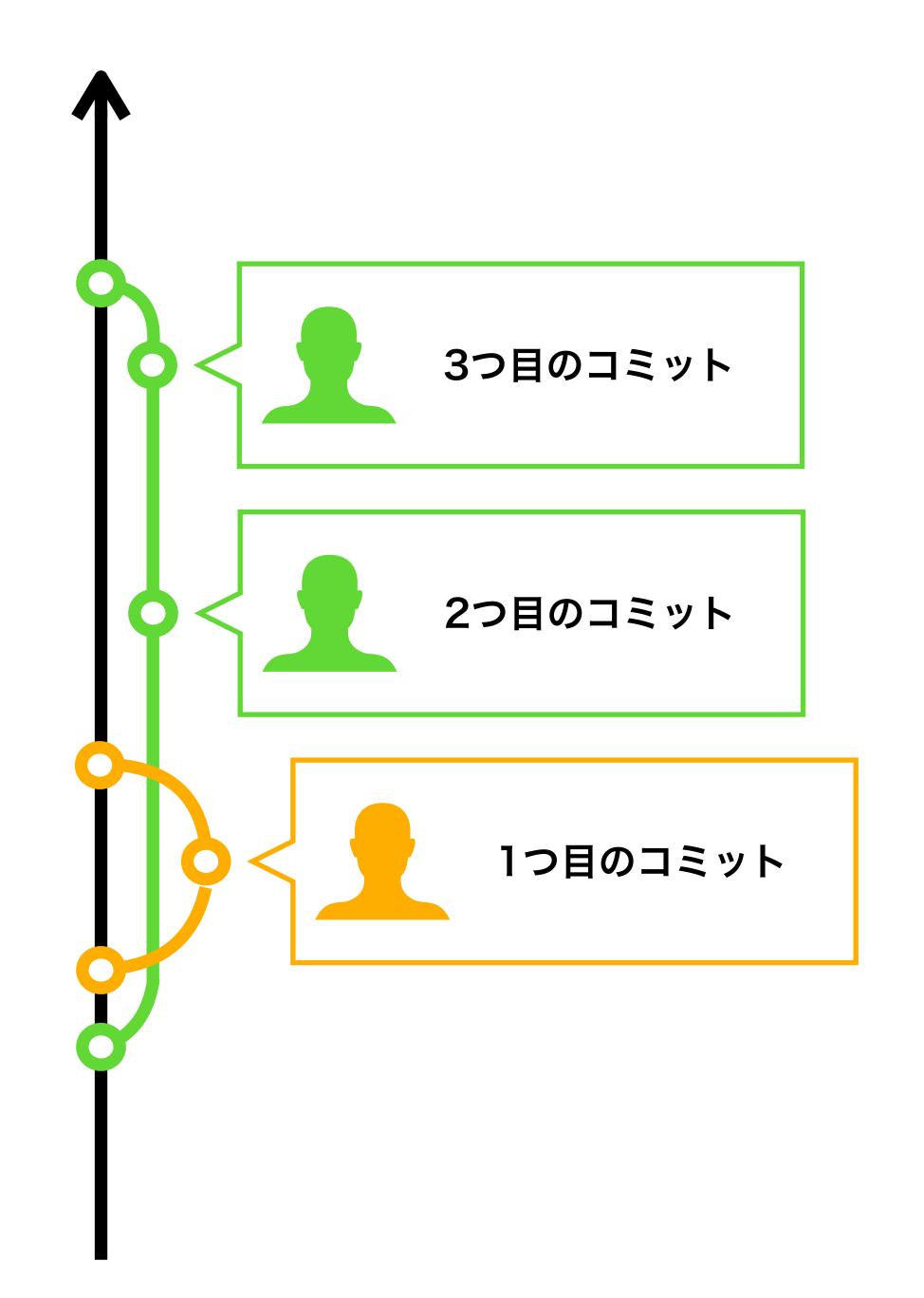
- 複数人で開発している際にGitの変更履歴が競合してしまうこと
- コンフリクトは GitLabからプルし、変更履歴を合わせることで解消



Branch

ブランチの使用

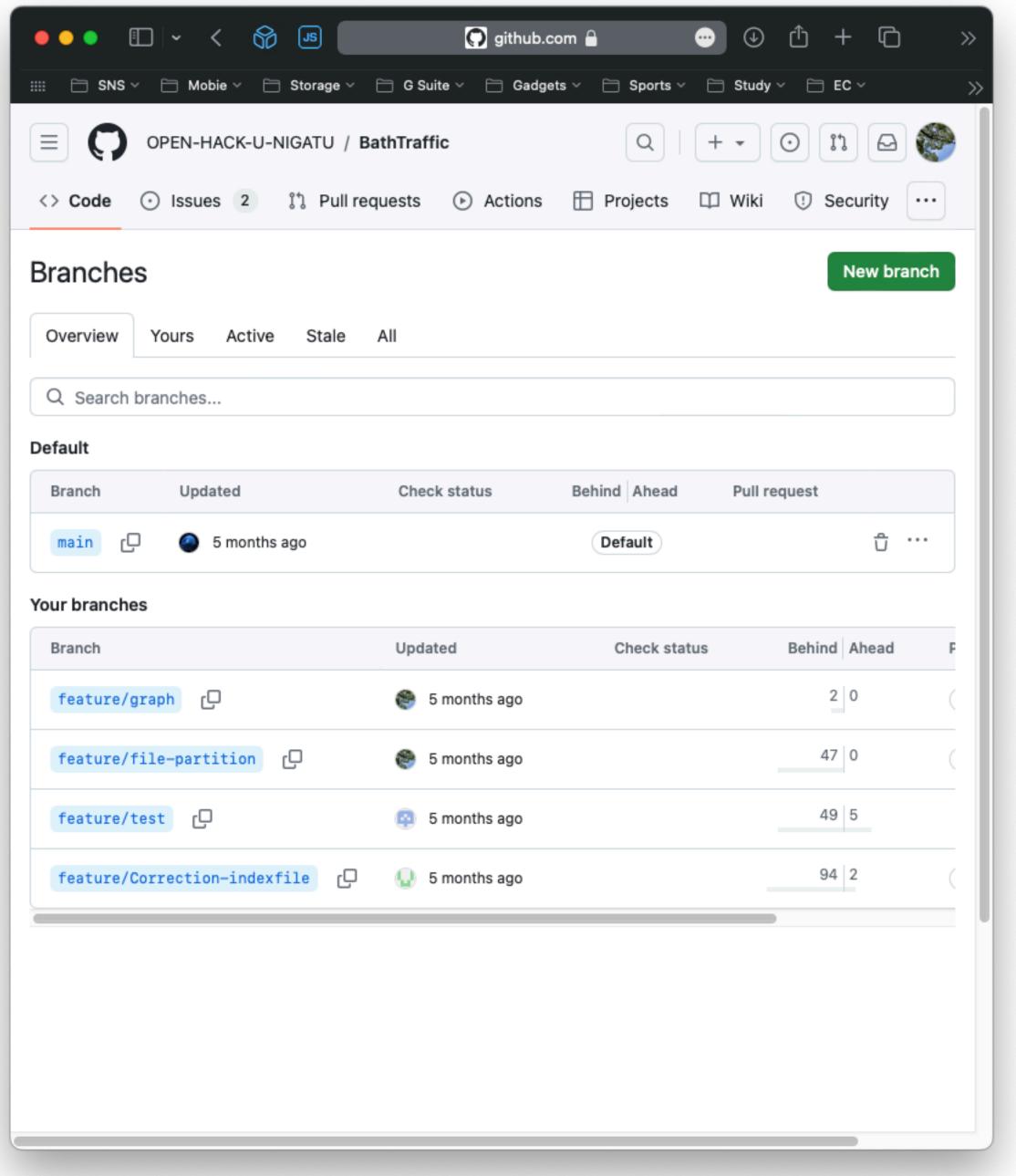
mainブランチに直接ではなく、 別のブランチを作成することで プロジェクト本体に影響を 与えずに開発できる



Branch

ブランチの使用

mainブランチに直接ではなく、 別のブランチを作成することで プロジェクト本体に影響を 与えずに開発できる



Branches | GitHub

Branch

ブランチの確認

・以下のコマンド実行で 現在ローカルで使用している ブランチが確認できる

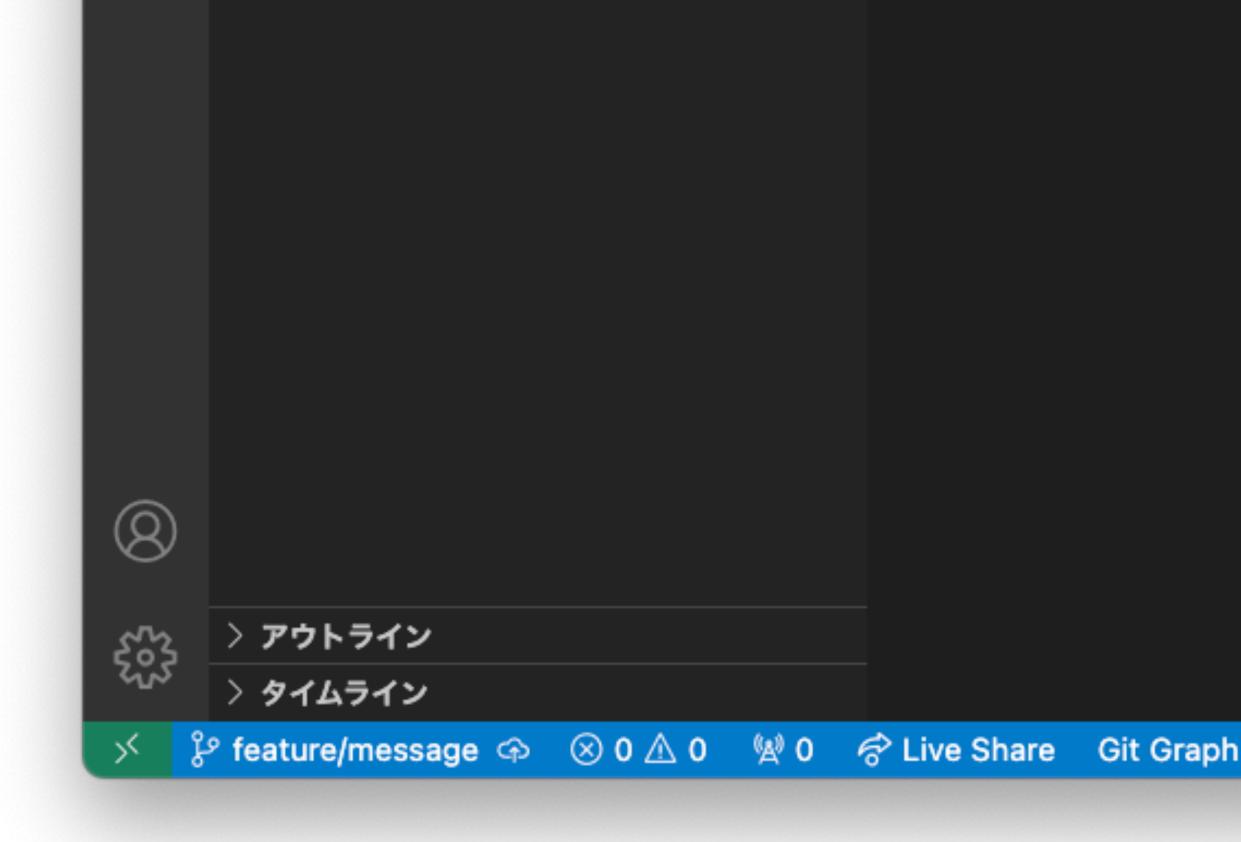


```
BathTraffic — -zsh — 50×10

[soma@MacBook-Air-2 BathTraffic % git branch * feature/message main soma@MacBook-Air-2 BathTraffic % som
```

Branch ブランチの確認

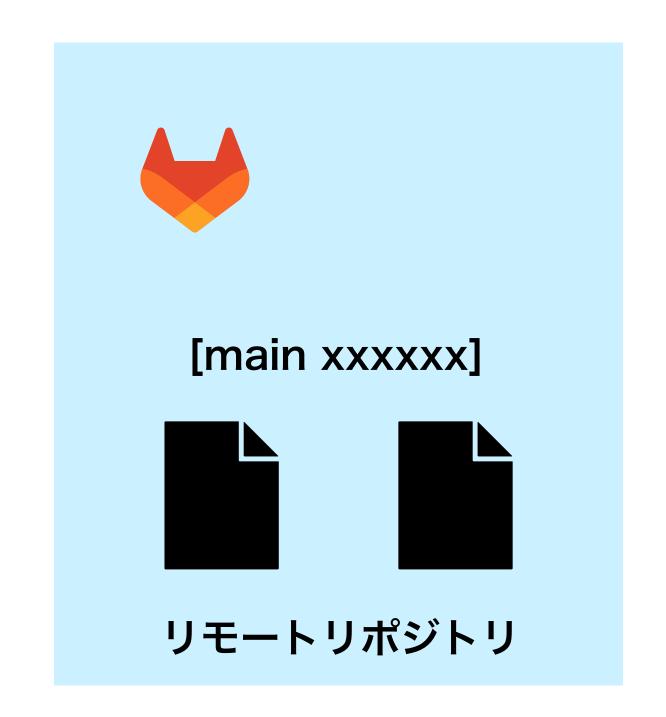
- ・以下のコマンド実行で 現在ローカルで使用している ブランチが確認できる
- · VS Codeの左下部分にも表示



Create Branch

リモートブランチの作成

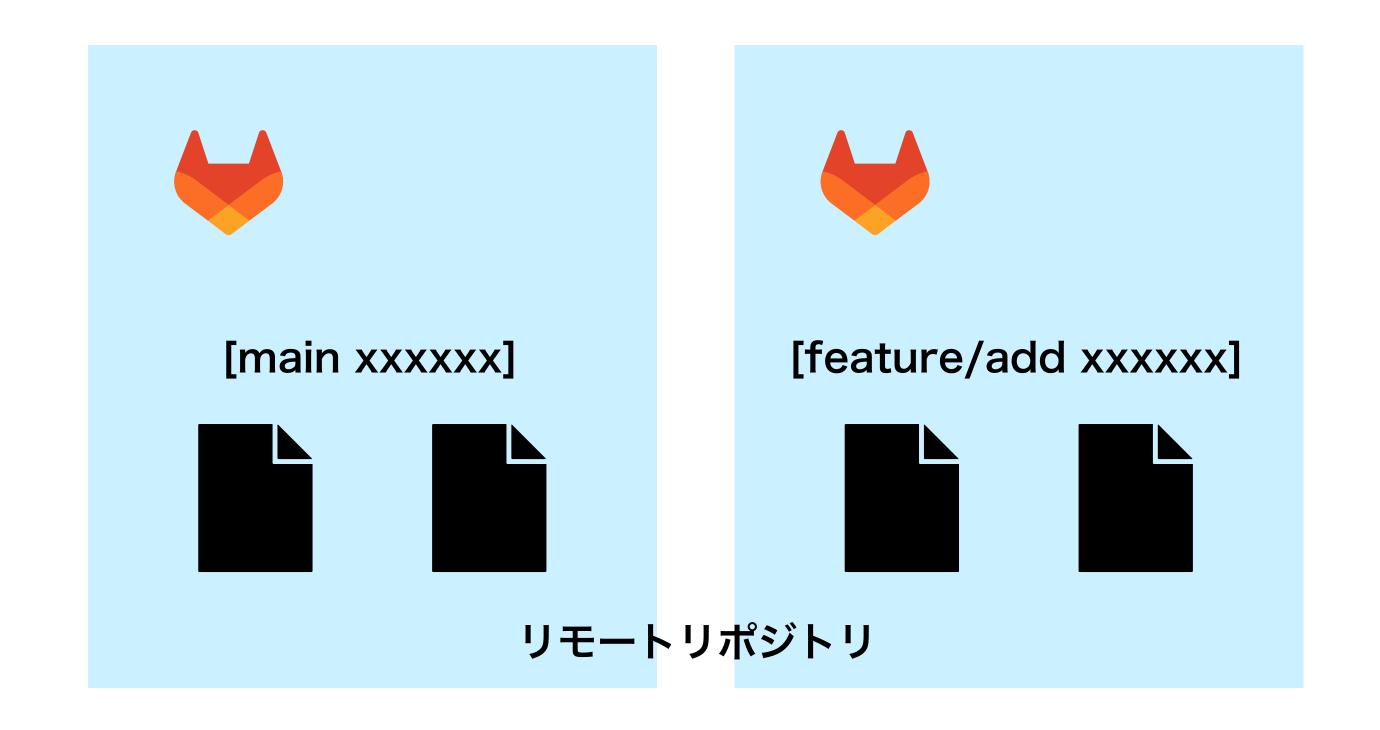
- ・リモートブランチはGitLabなど リモート上で作成する
- · 分岐元のブランチを選択する
- リモートブランチの作成前に現在のブランチに全てPushしておく



Create Branch

リモートブランチの作成

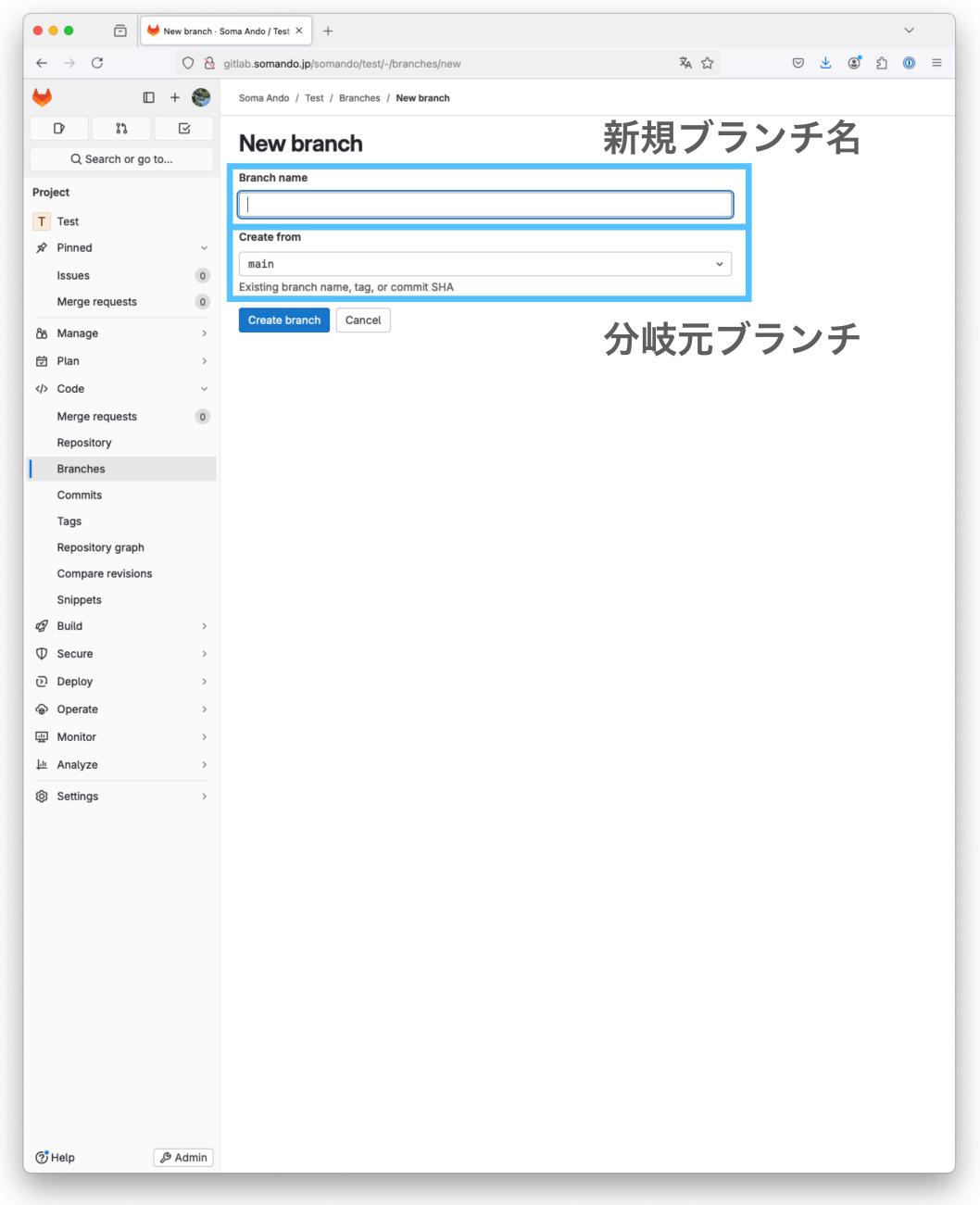
- ・リモートブランチはGitLabなど リモート上で作成する
- · 分岐元のブランチを選択する
- リモートブランチの作成前に現在のブランチに全てPushしておく



Create Branch

リモートブランチの作成

- ・リモートブランチはGitLabなど リモート上で作成する
- · 分岐元のブランチを選択する
- リモートブランチの作成前に現在のブランチに全てPushしておく

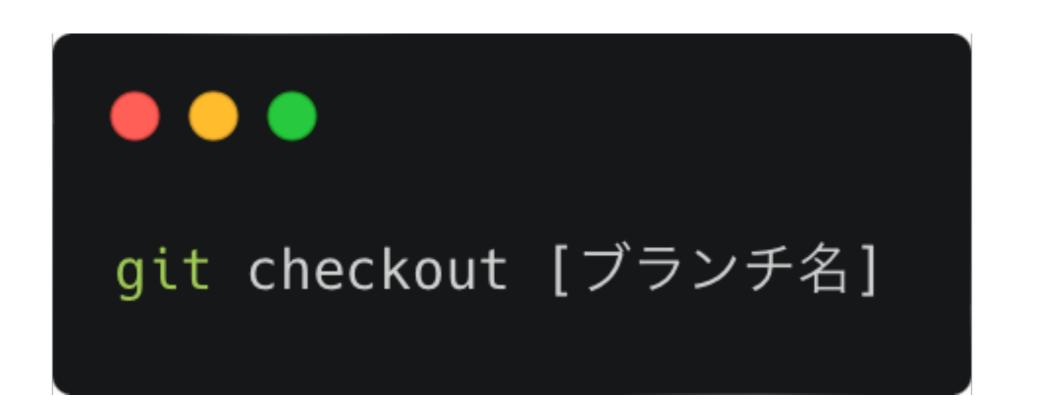


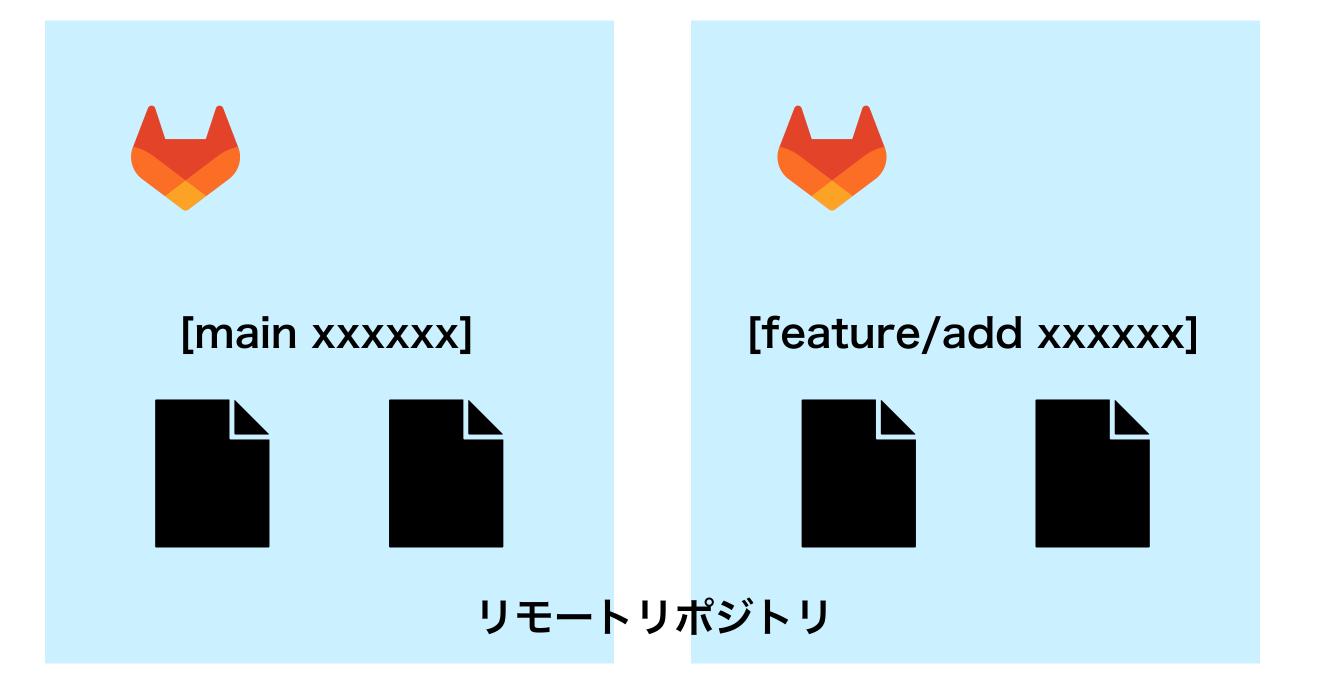
Branches | GitLab

Checkout

ローカルブランチの変更

- ブランチを新規作成するときは"-b"オプションを付ける
- Checkoutをする際には 今までのコミットが 全てPushされている必要がある



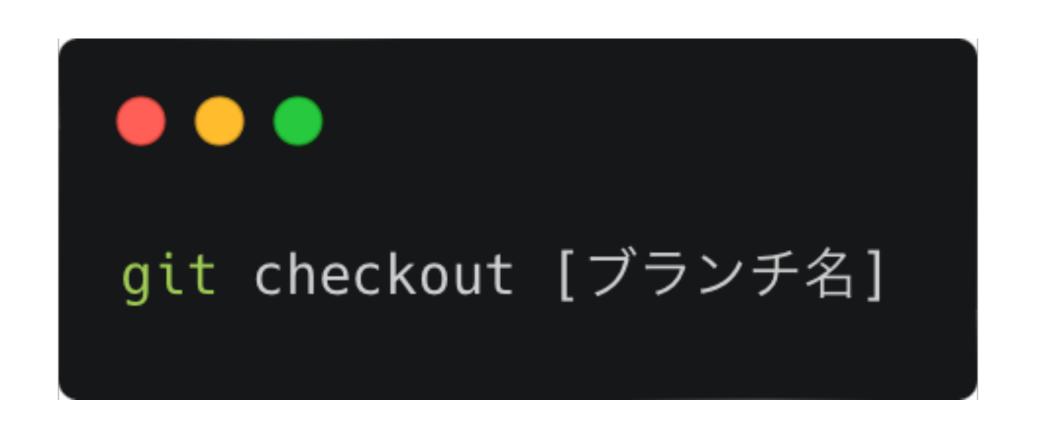


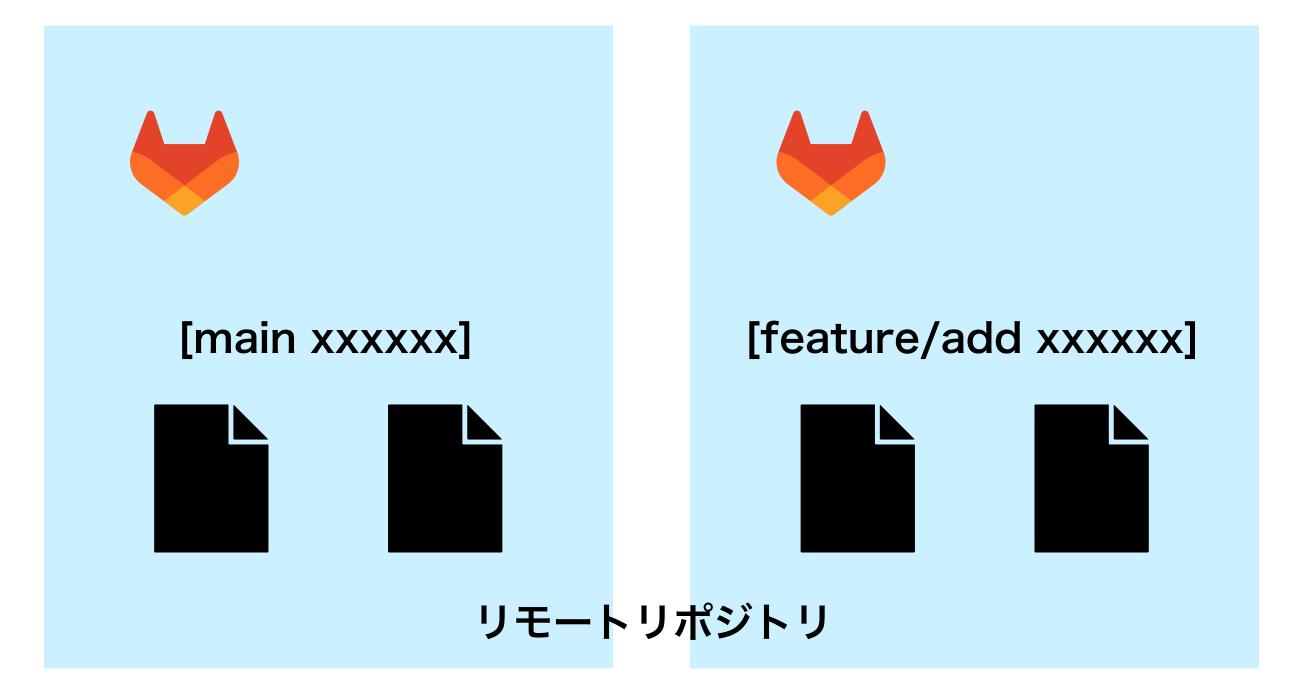


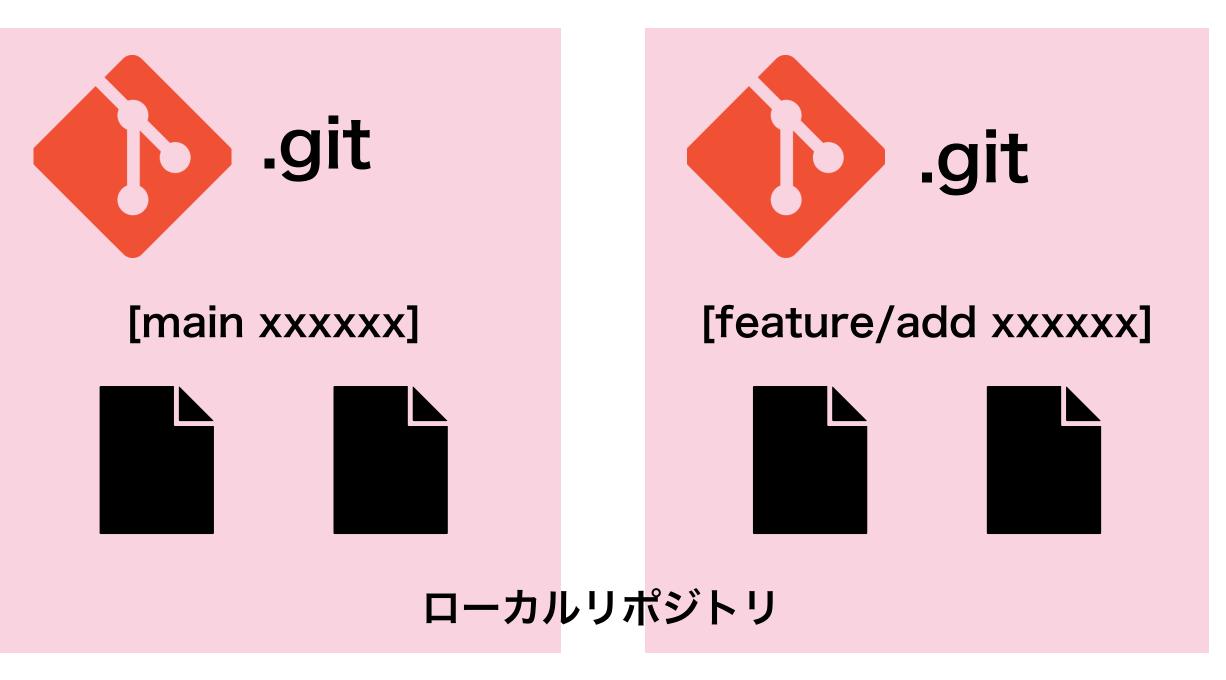
Checkout

ローカルブランチの変更

- ・ブランチを新規作成するときは "-b"オプションを付ける
- Checkoutをする際には 今までのコミットが 全てPushされている必要がある



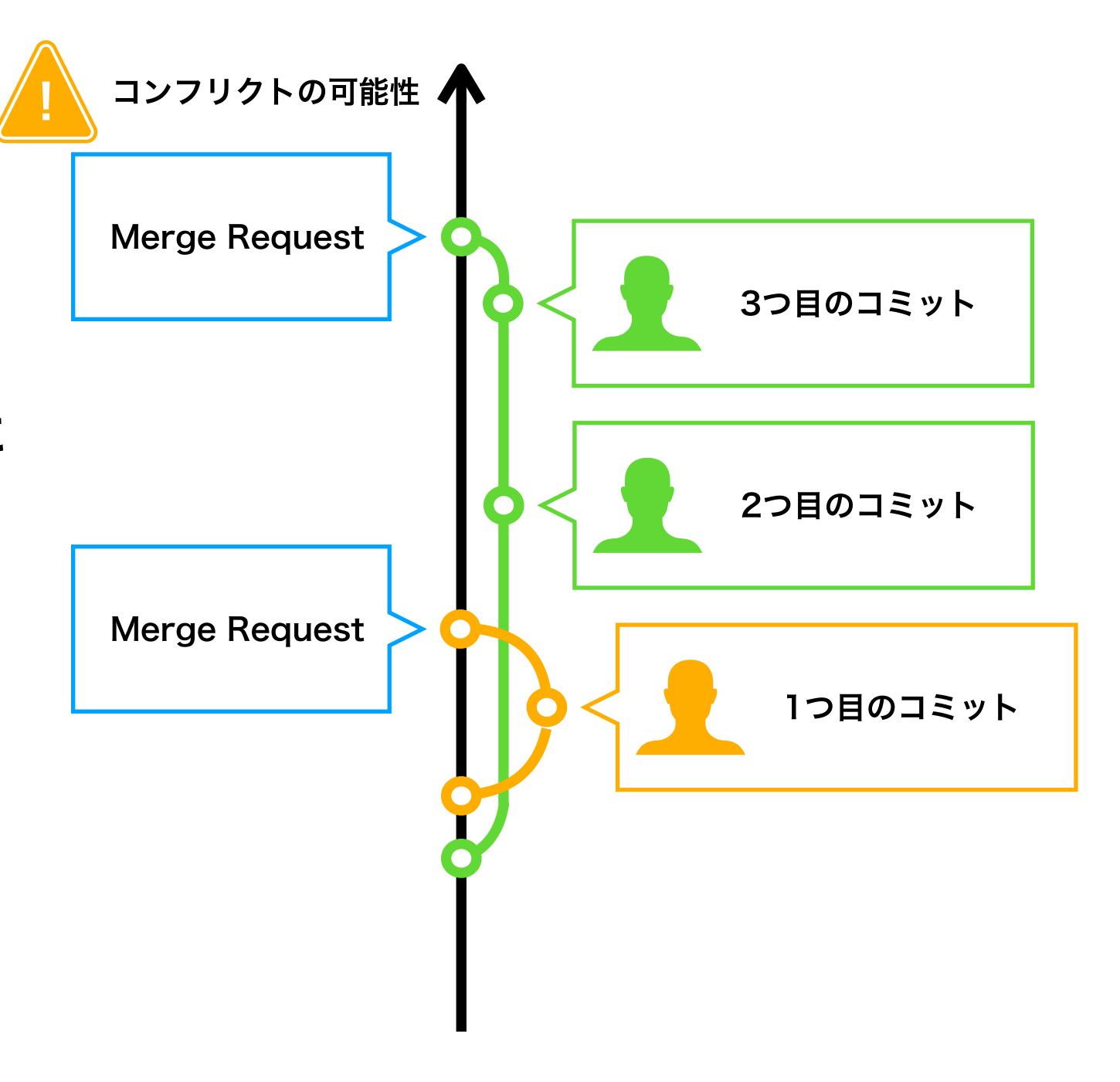




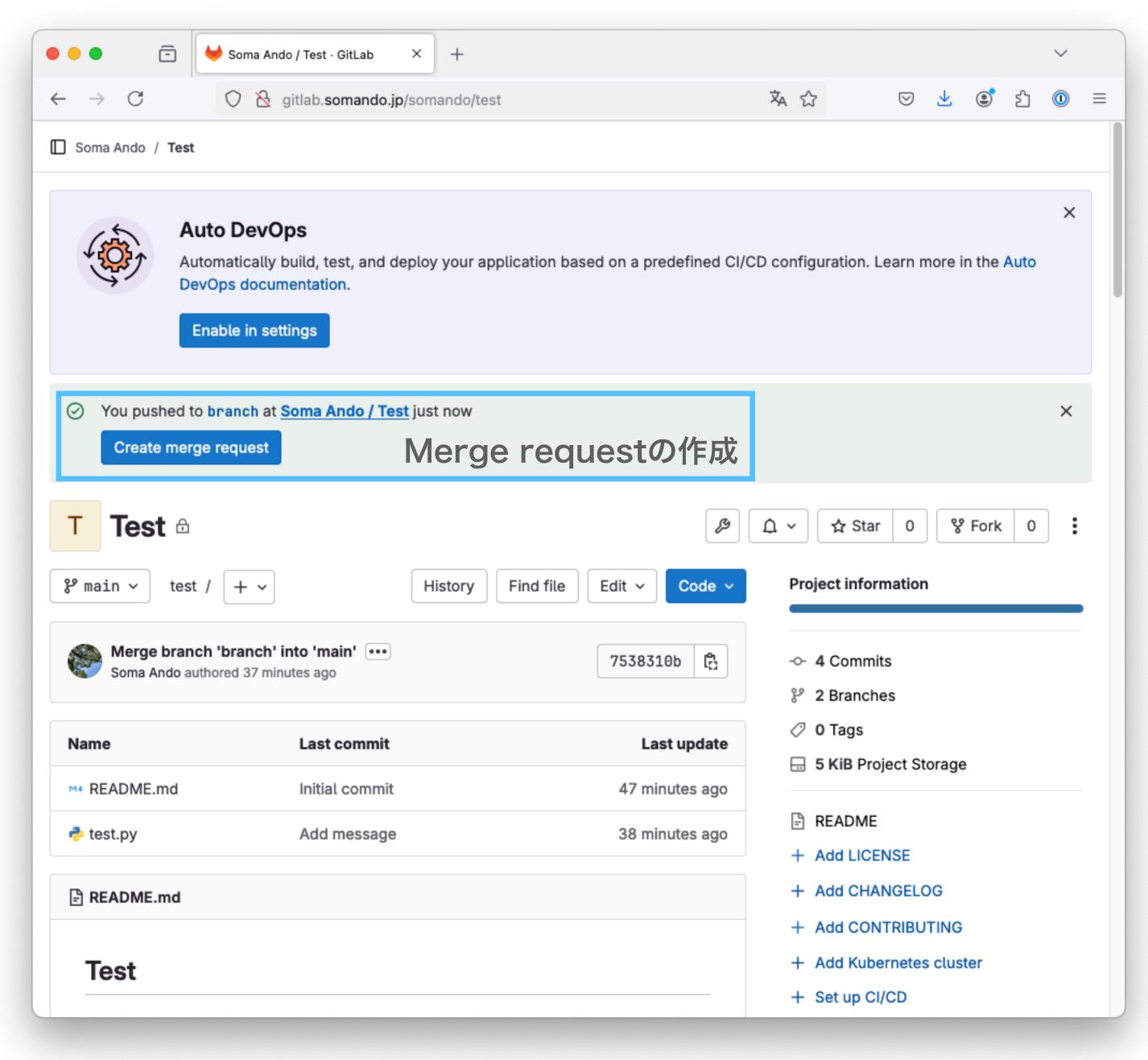
Merge Request

マージリクエスト

- ・派生ブランチからmainブランチへ統合するために出すリクエストのこと
- この際にコンフリクトが起きる 可能性がある
- ・コンフリクトは GitLab上で編集する

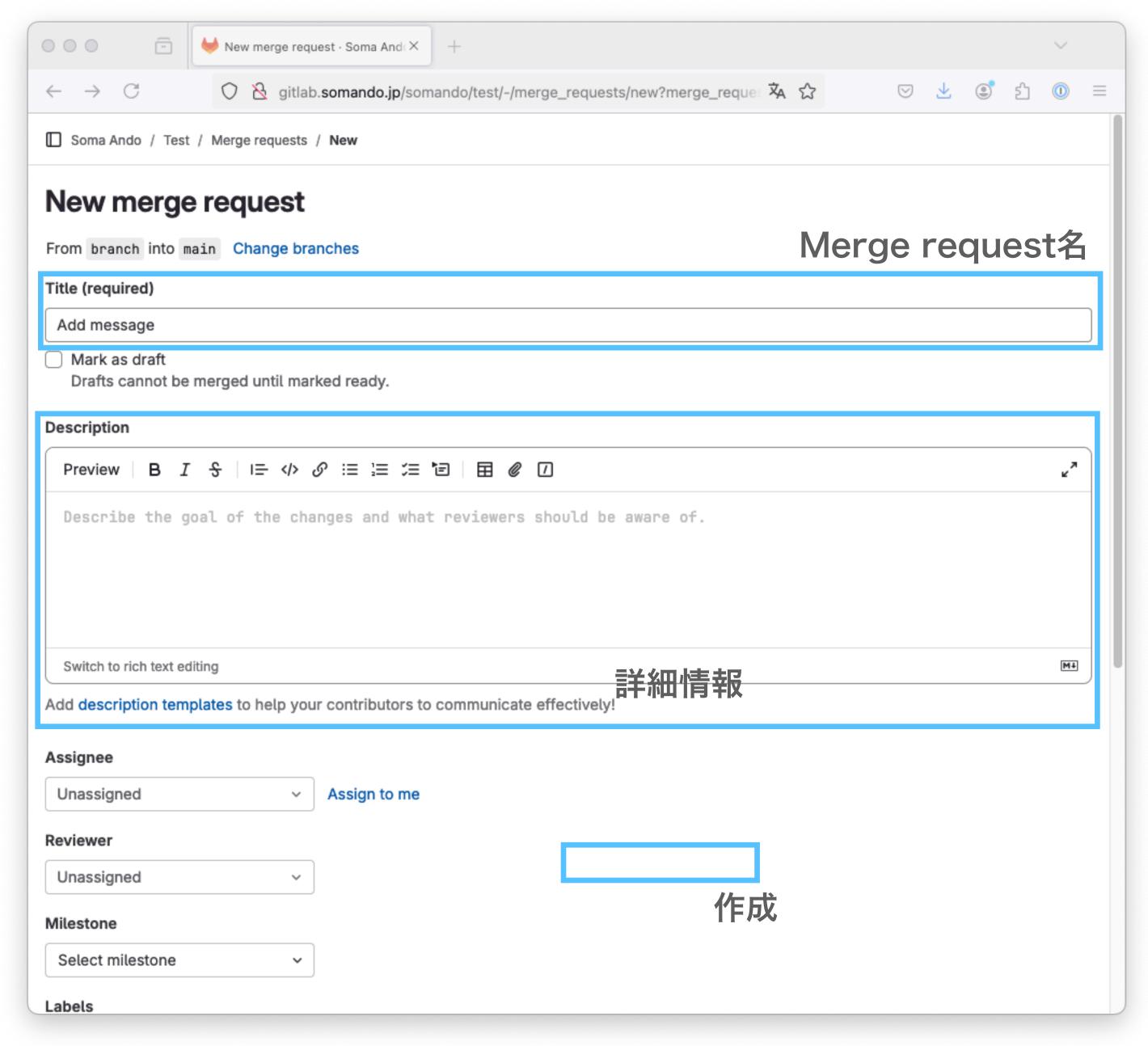


- ・派生ブランチからmainブランチへ統合するために出すリクエストのこと
- この際にコンフリクトが起きる 可能性がある
- ・コンフリクトは GitLab上で編集する



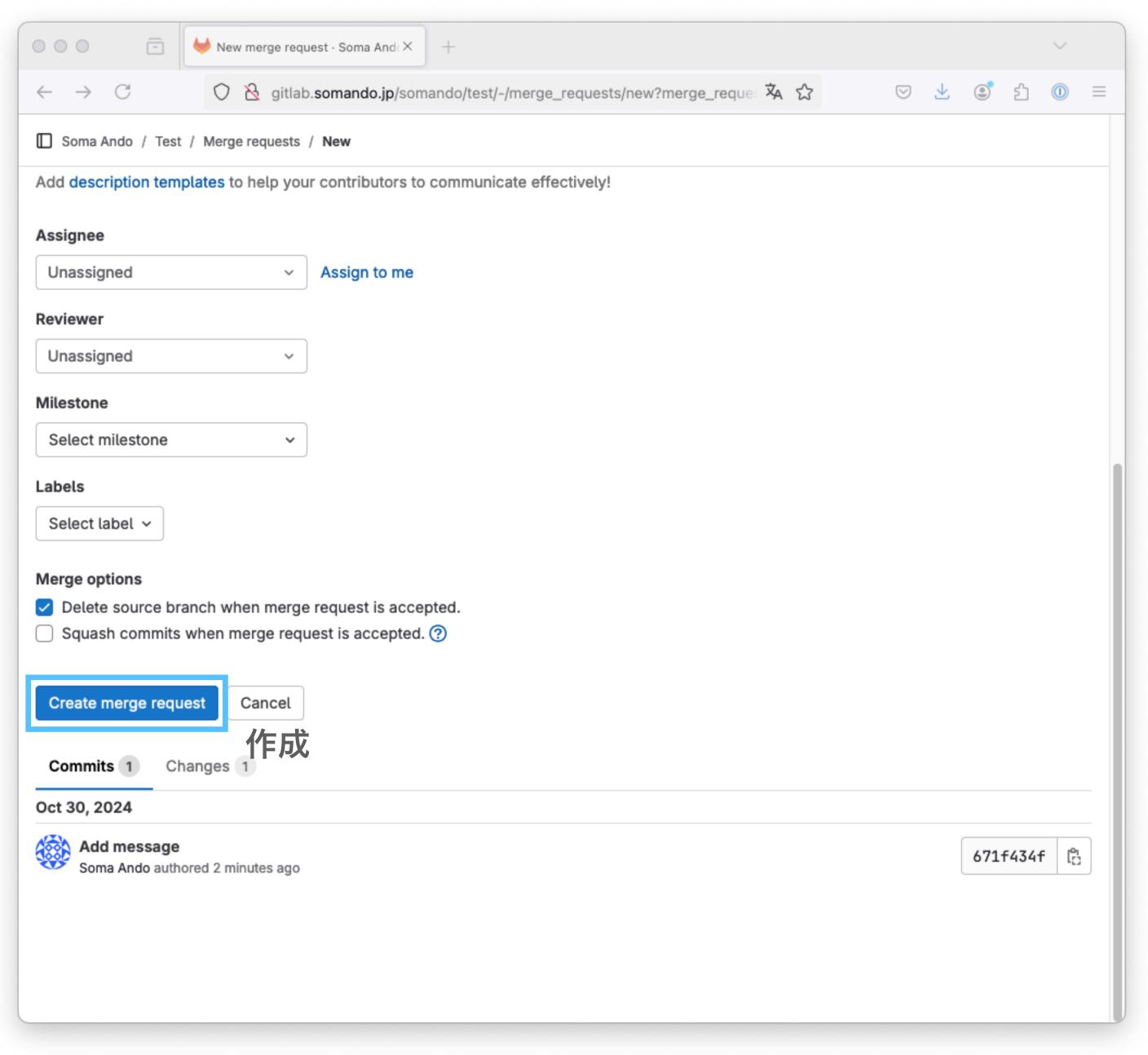
Project | GitLab

- マージリクエストのタイトルに変更内容を簡潔に書く
- ・詳細情報に**具体的な変更内容**を 書く
- ReviewersやAssigneesにレビューを頼む人を選択する

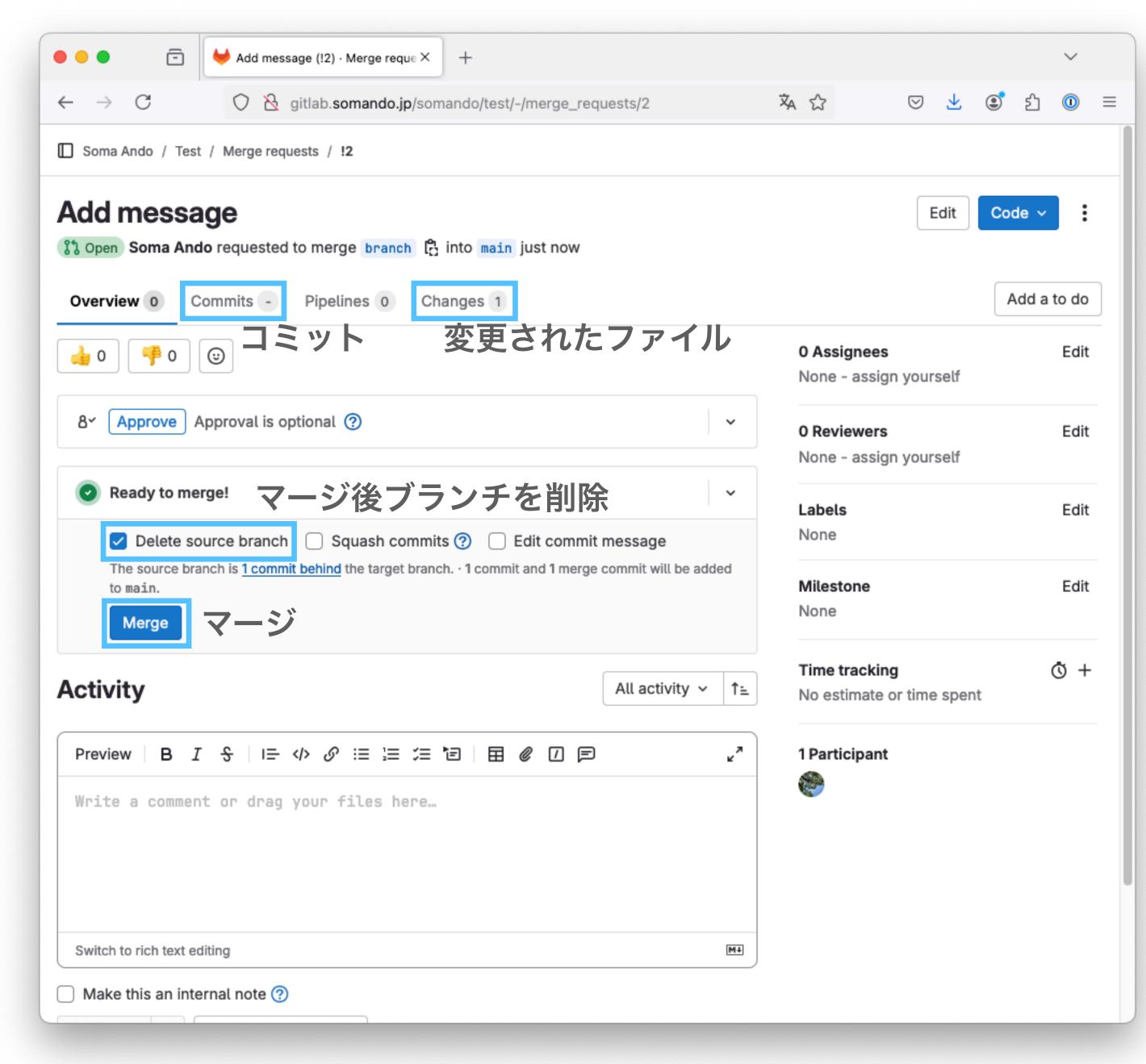


New merge request | GitLab

- マージリクエストのタイトルに変更内容を簡潔に書く
- ・詳細情報に**具体的な変更内容**を 書く
- ReviewersやAssigneesにレビューを頼む人を選択する

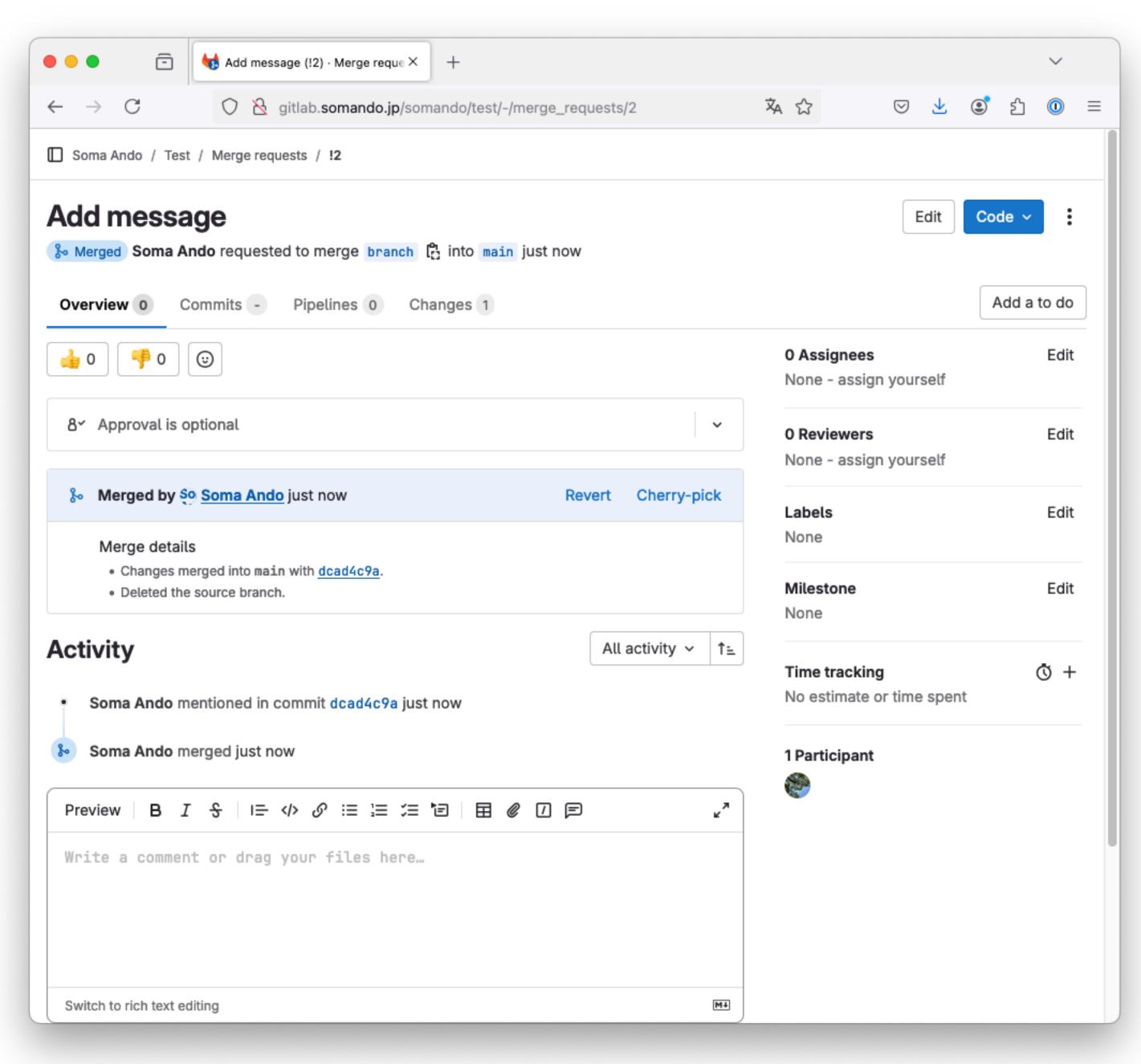


- ・承認がない場合に マージ出来なくする設定もある
- マージする前に他の人の レビューを必ず受けること
- チーム開発の場合は本人が勝手にマージしない
- ブランチが不要になった場合はブランチを削除する



Merge requests | GitLab

この画面になるとマージが完了している



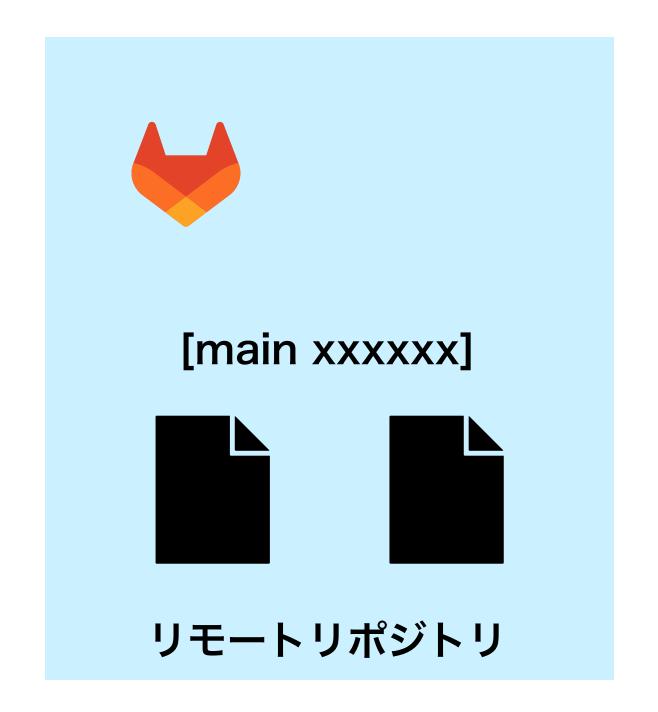
Merge requests | GitLab

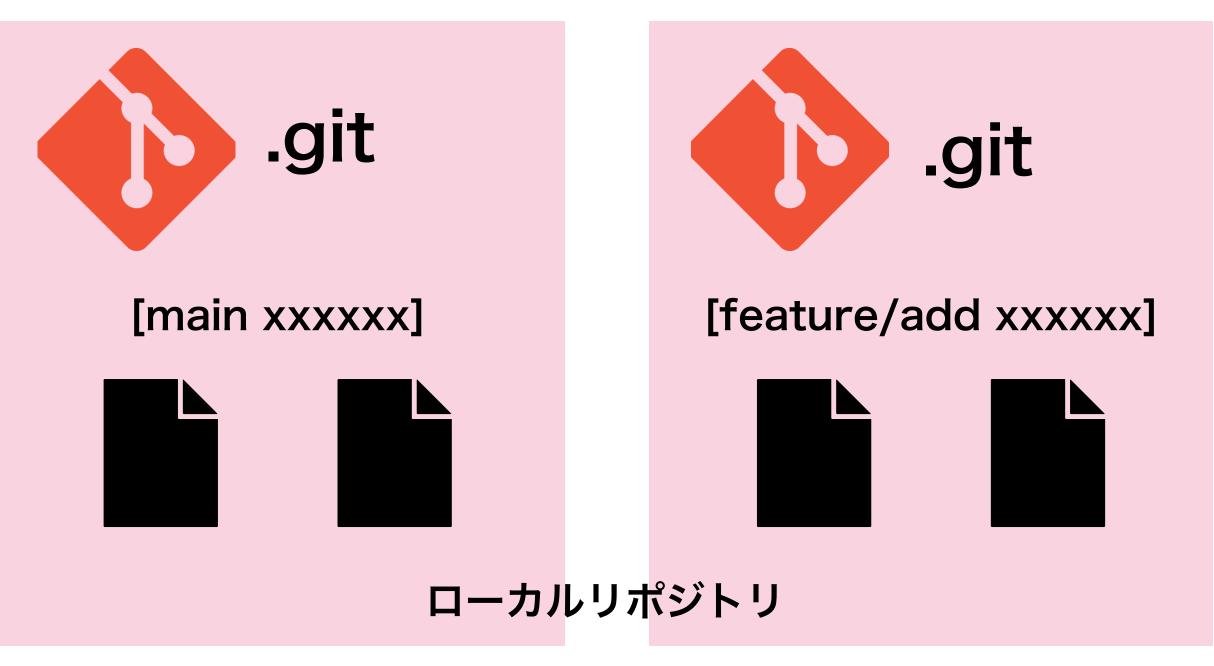
Delete local branch

ローカルブランチの削除

- ブランチを削除するときは"-d"オプションを付ける
- 復元できないため注意して実行する必要がある







Delete local branch

ローカルブランチの削除

- ブランチを削除するときは"-d"オプションを付ける
- 復元できないため注意して実行する必要がある



